

ラークスパー(千鳥草)
Consolida
 (キンポウゲ科)

デルフィニウムに近縁な1年草。以前は*Delphinium*属に含まれていたが、現在は独立して*Consolida*属。デルフィニウムの一重でスプレーのペラドンナ系やシネンシス系とよく似た外見で、落花しやすい点も似ている。デルフィニウムと同じように収穫後激しく落花するので、STS剤による前処理は不可欠である。

1) 品質評価基準

項 目	判 定 基 準	備 考
小花の萎凋・乾燥と褐変	A: 距(きょ)の変色や萎凋した小花がない B: 一部の小花の距が変色, 褐変する C: 小花の萎凋・乾燥と褐変が始まる D: 小花の1/3程度が萎凋・乾燥, 褐変する	距が絡みやすいので取り扱いに注意
小花の落花	A: 花弁の落下がない C: 花弁の落花が始まる D: 多くの花弁が落花する	調査時に軽くゆする
葉の黄変・褐変	A: 黄変・褐変がない B: 下葉の葉先が黄変・褐変 C: 下葉のほとんどが黄変・褐変 D: 下葉が褐変	コスモスのような葉は貧弱で、観賞価値が低いので、取り除いた場合には判定からはずしてもよい
その他		

2) 留意点

STS剤で前処理をした切り花を供試する。
 STS処理済みの切り花では花弁が萎れ、乾燥、褐変するだけで落花しないことが多い。
 収穫後に開花した小花は着色しない。
 小花には長い距があり、絡みやすいので、取扱に注意する。
 茎は細いうえ、中空で折れやすい。

3) 開花



4) チェック事項



正常な小花と蕾



正常な距, 花弁

